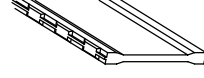
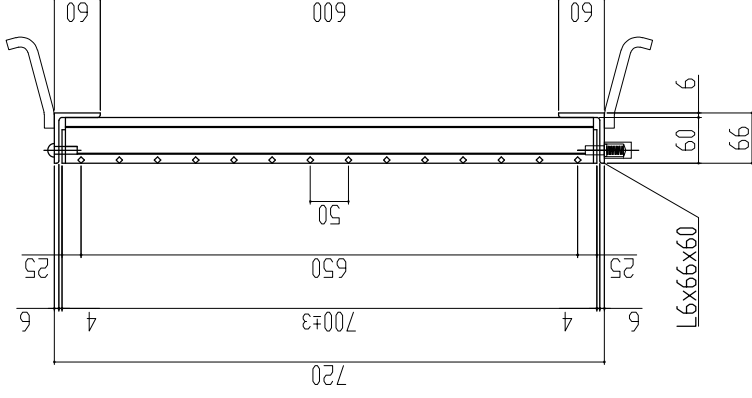


車両進行方向(横断)



本体重量 30.4kg  
受枠重量 14.2kg  
合計重量 44.6kg

表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ  
(JIS H8641)  
受枠は錆止め黒塗装仕上げ

主部材詳細図

訂正年月日	訂正番	訂正年月日	訂正事項	承認印	検査印	製図	図名
標準製作図面				承認印	検査印	製図	ますふた(110度開閉式)ハイテンプレート 開口600×600用 並目ノズル T-25
製作図面				承認印	検査印	製図	
特注図面				承認印	検査印	製図	
検討図面				承認印	検査印	製図	

株式会社	MK駐輪事業部
MK	MKG-L-911
図番	LNFB605-66

# グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNFB605-66
	製品寸法	700x605x60
	主部材	I-5 × 3 × 60
	断面係数	Z = 2.741 cm <sup>3</sup>

2 設 計 条 件	荷重条件	T-25	支点間距離	L = 600
	後輪一輪荷重	P = 100000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm <sup>2</sup>	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: $\omega$ (N/mm)を求める。 $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 100000 \times (1 + 0) \times 30 / 100000$ $\omega = 30.00 \text{ (N/mm)}$
	2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。 $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 30 \times 0.5 \times 200 \times (600 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 750,000 \text{ (N・mm)}$
	3. 曲げ応力度: $\sigma_b$ (N/mm <sup>2</sup> ) を求める。 $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 750,000.0 / 2741.000$ $\sigma_b = 273.62 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 <math>\sigma_b = 320</math> (N/mm<sup>2</sup>) に対し、</p> $\underline{273.62 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}$

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--